

要請番号 (JL01820A09)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タイ	G130 柔道		個別	新規	2年	・2020/2・2020/3・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

観光・スポーツ省

2) 配属機関名（日本語）

スパンブリースポーツスクール

3) 任地（スパンブリー県） JICA事務所の所在地（バンコク都）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車で約2.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

スパンブリースポーツスクールは、1998年に設立された公立の中高一貫の全寮制のスポーツスクールである。全学生数は約700人で、学生は入学試験時に専攻するスポーツを試験により決定する。同校では、主要なスポーツに加え、野球、体操競技、テコンドー、空手、自転車競技など多岐にわたる専攻があり、柔道もその1つである。現在、中学1年生から高校3年生まで27人の学生が柔道を専攻している。なお、タイ国内には、同様のスポーツスクールが同校を含めて4校ある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同校の柔道専攻学生のほとんどは、入学時は未経験者である。練習は週6日間、1日あたりの練習時間は3~3.5時間である。練習場所は占有できる練習場が2か所、うち1か所は柔道国際ルールに則った柔道場として設計されている。設備、練習時間が十分確保されている一方、指導は20代(二段)の臨時コーチ2名がいるものの、通常は50代(三段)のコーチ一人が担っており、練習はすべての年齢の学生が合同で同じ内容の練習を行っている。

そのため、日本の練習・指導方法を導入し、年齢や技術レベル等に応じた適切な練習、トレーニングにより全体の技術力向上を図り、年齢区別の国内代表選手への選出を目指すため、本要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

同僚である柔道コーチとともに以下の活動を行う

- 柔道専攻の学生27名への技術指導(週6日、1日3~3.5時間 ※2019年現在)
- 練習・トレーニング方法の改善の提案・実施
- 選択科目授業として柔道を専攻している学生への指導
- 柔道指導を通した柔道の普及活動

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

柔道場(屋根つき屋外柔道場、国内柔道場各1)、柔道用練習器具、道着

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

正規コーチ1人(50代、柔道三段、男性)
臨時コーチ2人(20代、柔道二段、男性1、女性1)

活動対象者:

生徒27人(中1~高3まで。男性22、女性5)

※2019年現在、柔道専攻の枠は最大30人

5) 活動使用言語

タイ語

6) 生活使用言語

タイ語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（柔道三段）

[学歴]：（大卒） 備考：同僚の学歴に準ずる。

[性別]：（男性） 備考：指導対象の多くが男性のため

[経験]：（競技経験）5年以上 備考：競技者強化指導のため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（22～38°C位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

【類似職種】

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.